入園式後の風景

おおさきかみじま

議会だより

第44号/2014年５月２日

平成26年３月定例会

平成26年度予算 ―― 2～4

決まった主なこと ―― 5

わが町の予算主なやりとり ―― 6～8

議会傍聴日記 ―― 8

議員が一般質問 ―― 9～11

委員会報告 ―― 12～13

委員会視察報告 ―― 13

編集後記 ―― 14

大崎上島町議会

☎（0846）６５－３１３０（直通）

FAX（0846）６５－３１１７

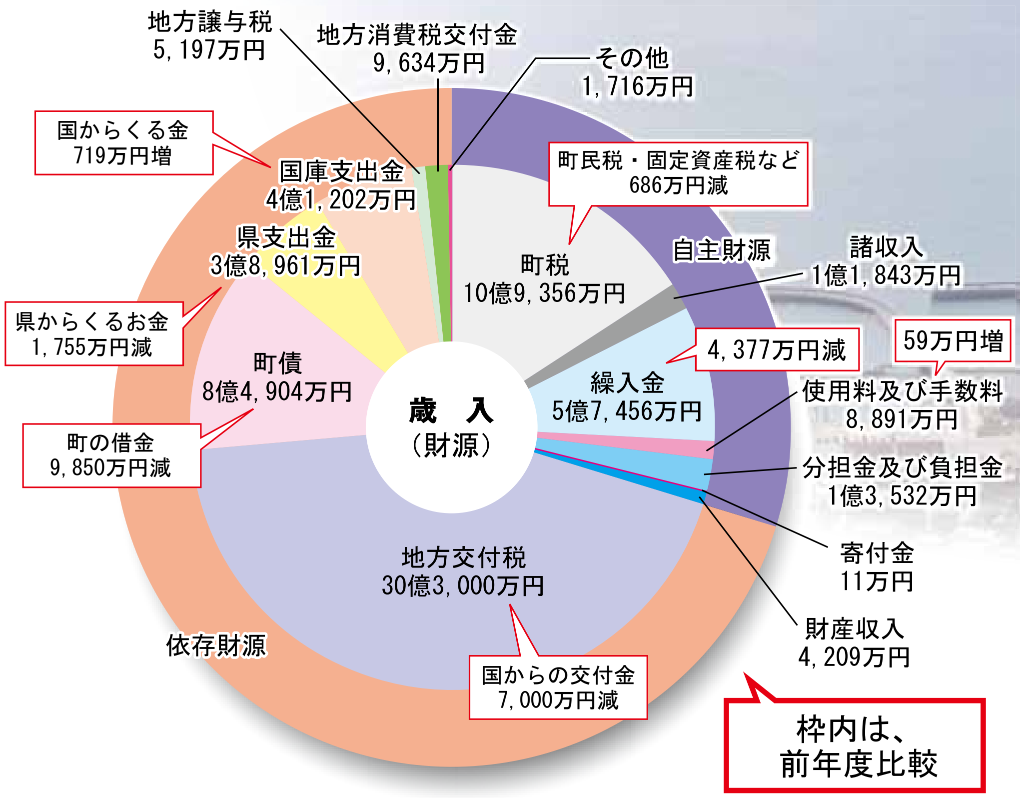
〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1

URL:http://www.town.osakikamijima.hiroshima.jp/

予算を可決

１０９億４，９２３万円
８億４，９０４万円
２９．８％

平成26年第1回大崎上島町議会定例会は、3月6日から3月19日の会期で開会した。町長の施政方針に始まり、3名の議員の一般質問、条例改正を含む13件の議案、3月補正予算、新年度一般会計及び特別会計予算を審議し、全ての案件を可決した。



68億9,912万円

対前年比
2.5%
減額

町長　高田　幸典

「大崎上島流の元気産業を育てるまち」
- 畑地帯総合整備事業
- 大串キャンプ場シャワー棟整備事業
- 未来創造支援事業
- 全国ブルーベリー産地シンポジウム事業
- 体験型修学旅行誘致事業
- 中小企業融資資金利子補給事業
- 緊急雇用対策事業

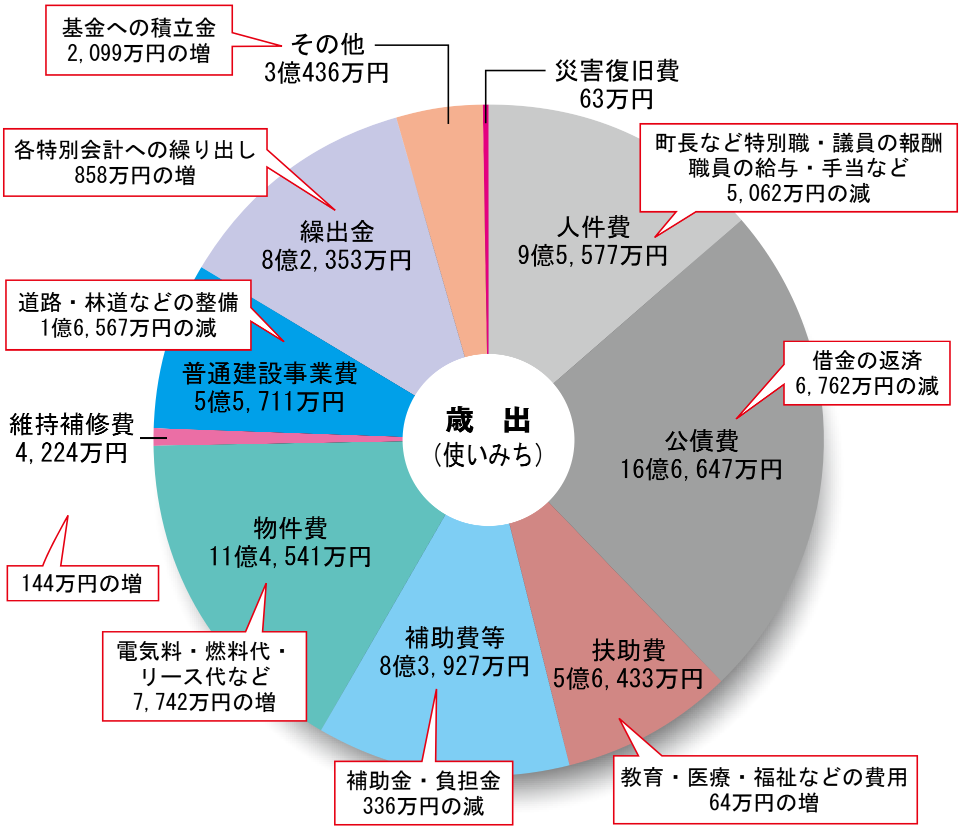
「明るく温かい人と地域が支えるまち」
- おもてなしロード整備事業
- 定住促進用住宅管理運営事業

「理解と協働で地域を想うまち」
- 第２次長期総合計画策定事業

第１回定例会
（３月議会）

平成２６年度

予算総額（一般会計＋特別会計）
今年度の町債（借金）
一般会計自主財源比率



平成26年度一般会計予算

町長施政方針抜粋

「元気に住み続けたい気持ちを実現するまち」
- エンジョイ健康セミナー事業
- 第４期障害者福祉計画策定事業
- 地域活動支援センター事業

「地域を愛する人を育てるまち」
- 大崎上島学事業
- 町立学校情報機器等整備事業

「美しく住みよい環境で暮らすまち」
- 道路ストック総点検事業
- 町道東原下向山線改良事業
- 町営渡船建造事業
- 消防施設整備事業
- 地域防災計画改定事業
- 簡易水道統合事業
- 漁業集落排水施設機能診断及び機能保全計画策定事業

平成26年度　特別会計（11事業）

予算総額　40億5,012万円

国民健康保険事業

歳入・歳出予算は、それぞれ12億8043万円で前年度対比0・8％の減です。

介護保険事業

歳入・歳出予算は、それぞれ15億825万円で前年度対比0・7％の増です。

後期高齢者医療保険事業

歳入・歳出予算は、それぞれ1億9，330万円で前年度対比4・4％の増です。

簡易水道事業

歳入・歳出予算は、それぞれ5億5，967万円で前年度対比6・4％の増です。

公共下水道事業

歳入・歳出予算は、それぞれ1億7，424万円で前年度対比28・0％の増です。

農業集落排水事業

歳入・歳出予算は、それぞれ3，840万円で前年度対比3・4％の減です。

漁業集落排水事業

歳入・歳出予算は、それぞれ6，624万円で前年度対比19・1％の増です。

港湾管理

歳入・歳出予算は、それぞれ1，404万円で前年度対比0・4％の減です。

漁港管理

歳入・歳出予算は、それぞれ358万円で前年度対比3・4％の増です。

交通事業

歳入・歳出予算は、それぞれ2億45万円で前年度対比11・5％の減です。

干拓地管理

歳入・歳出予算は、それぞれ1，151万円で前年度対比4・2％の減です。

第１回定例会（３月議会）

決まった主なこと

さざなみ新造船建造事業（JRTT※との２分の１の共有建造）124,089千円

※JRTT・・・独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構

化学消防ポンプ自動車購入（大崎上島消防署に配備）	38,104千円
WindowsXP　サポート終了にともなうパソコンの更新	33,868千円
町道東原下向山線改良事業	20,000千円
地域活動支援センター事業（障害者ディサービス事業）	6,055千円

第１回臨時会

議案１号～３号

- 消費税及び地方消費税の税率の引き上げに伴う関係条例の整理に関する条例
- 大崎上島町シーカヤック艇庫の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 大崎上島町大串キャンプ場条例の一部を改正する条例

議会傍聴してみませんか。
次回の定例会は６月です
日程は町内放送・ホームページで
お知らせします。

自治功労者表彰

広島県町村議会議長会表彰
○議会議員14年以上
赤松　良雄議員

全国町村議会議長会表彰
○議会議員15年以上
浜田　明利議員

主なやりとり

問 基金繰入金を減額しているが、繰入金を活用しつつ、今後の方針について各種団体との協議を行うべきでは。（閑田議員）

答 各種団体と協議しながら調整しているつもりだ。今後も協議しながら決めていく。（総務課長）

問 高速艇の欠損補助が年々増加しているが、陸上交通に切り替えれば、費用は半分以下で可能なはず。今後、検討するべきでは。（閑田議員）

答 高速艇を残して欲しいという要望は多い。公共交通を守るのは大変難しいが、新たに施行された公共交通対策基本法を踏まえ、慎重に対応したい。（企画振興課長）

答 赤字増加を容認する訳ではないが、なくなると住みにくくなる。いろんな方策を検討したい。（副町長）

高速艇

問 現在の交通事情に適さない荷重制限の橋梁の改修は。（閑田議員）

答 県道に2箇所あるが、短い橋なので全車重を受けるわけでなく、問題ない。（建設課長）

問 職員の残業増加・滞納整理の成果下落など、職員数削減の悪影響が出ているのでは。（閑田議員）

答 昨年は課の統廃合があったので、その影響ではないかと考えている。（総務課長）

問 児童措置費が昨年比921万円減額となっているが。（越田議員）

答 児童手当支給事業で、25年度予算の見込みが多かった。事業規模縮小ではない。（福祉課長）

問 イノシシ対策は（赤松議員）

答 報奨金の増額・処分場など、26年度で検討したい。（産業観光課長）

問 地籍調査係が縮小されるが、今後の方針は。（赤松議員）

答 進捗は若干遅れるが、継続する。（産業観光課長）

問 学校施設のエアコンが契約条件により使いにくい。改善策は。（赤松議員）

答 条件設定について教育委員会は指示をしていない。上手に使えるよう、学校と協議する。（教育総務課長）

問 PM2・5の数値測定や周知は。（赤松議員）

答 県教育委員会からは具体的な通知が出ていない。（教育総務課長）

わが町の予算

問　生野島の自然休養村の活用について、現在の状況は。（閑田議員）

答　何件かの申し込みが来ているので、今後検討していく。（総務課長）

自然休養村

問　東野小学校グラウンドの土が流出して溝が出来ている。対応は。（赤松議員）

答　学校に対応をお願いしている。（教育総務課長）

問　原下港物揚場の防塵対策は。（赤松議員）

答　使用者の責任で対応してもらっている。県の施設なので、県と協議したい。（建設課長）

問　火葬場の使用料の支払い窓口は。（赤松議員）

答　住民課に対応してもらっている。（保健衛生課長）

問　沖浦の宅地販売は。（辰田議員）

答　26年度には販売できるようにする。（総務課長）

問　町有地の売り払い状況は。（赤松議員）

答　大串住宅地は5区画売却。今年度2区画の予定。（企画振興課長）

答　他の町有地も可能な物件は売却する。（総務課長）

大串住宅地

問　25年度のふるさと納税はいくらか。また、制度を促進する取り組みは。（辰田議員）

答　約90万（3月18日現在）。同窓会などで周知できるよう、チラシを配っている。寄付者には島の特産品を贈っているが、もう少し充実させたい。（税務課長）

問　体験型住宅の運用開始となるが、以前議論された貸し農地の計画は。（辰田議員）

答　要望があれば実施する。（企画振興課長）

問　竹原港の路線バスの運営状況は。（辰田議員）

答　利用者減や路線追加などにより赤字幅が増大している。事業者や竹原市と協議したい。（企画振興課長）

問　中央環境衛生組合のごみ焼却場建設の、今後の工程は。（辰田議員）

答 予定通り進んでいる。26年度は施設の処理方式の決定等を予定している。(保健衛生課長)

問 ホール神峰でのコンサート実施は。(赤松議員)

答 今年度は実施できないが、予算措置が可能なら対応したい。(社会教育課長)

ホール神峰

問 消防職員採用試験の、町出身者の受験状況は。(辰田議員)

答 1次試験での受験者情報は判らない。2次試験に合格した町出身者はいない。緊急時の対応に支障が出ている。(総務課長)

問 町営住宅の利用状況は。入居条件により入れない人もいると聞くが。(渡辺議員)

答 平成22年から常に空室がある。入居条件は、条例改正で緩和しているが、無条件で入居できるのは垂水団地だけ。(建設課長)

問 2年目に入る集落支援事業の今年度の計画は。(道林議員)

答 現在は支援員の研修段階だと認識している。事業内容は、協議しているが合意に至っていない。具体的な実施計画を策定し、地域の主体性が出せるようにしたい。(企画振興課長)

問 地域人づくり事業の雇用対象条件は。また、この事業は継続雇用が可能なのか。(道林議員)

答 失業者が対象となる。当事業では継続雇用も可能。(産業観光課長)

問 大串キャンプ場の更衣室やトイレ建設が計画されているが、売店はどうするのか。(辰田議員)

答 26年度はシャワー棟の整備と、他の施設整備についての検討を行う。

大串キャンプ場

議会を傍聴して

今まで、町の政治のことを知ろうとしたことなどない私が、大崎女性会の呼びかけで、平成25年6月と9月の定例会を傍聴に行きました。

一般質問を聞いて、今、町では何が問題で、どんなことを必要としているのか、などわかりました。

初めての体験でとても勉強になりました。

常連の傍聴者から「面白いでしょう」と聞かれ、「確かに」と思いました。

議会の様子や、議員さんたちの真剣に取り組む姿勢をみることができて、傍聴に来てよかった、と思いました。

また傍聴したいと思っています。

(K・Y)

議場

一般質問

町政を問う

3人の議員が7項目を質問

前田　太議員

問　空き家等の適正管理に関する条例の運用は

答　所有者等の同意を得て必要な措置を講じる

質問（前田議員）
　昨年9月、大崎上島町空き家等の適正管理に関する条例が制定され、4月より施行される。
　町長は空き家の管理が不全であると認められる場合は所有者等に対して指導・勧告ができ、さらには期限を定めて必要な措置を講ずるよう命令できる。
　どのように運用するのか。
　また、隣接家屋や住民に対して真に危険な状態にあるものは緊急避難措置として一部でも破壊処分ができないものか伺う。

答弁（総務課長）
　この条例で空き家が管理不全に陥らないよう所有者等に必要な責務を課すとともに町民から情報提供の協力を求める。
　条例の適用後、効果的な対応が取れるよう準備したい。
　また、条例では当該所有者等の同意を得て、危険な状態を回避するために必要最低限の措置を講じることができるとあり、同意を得ずに緊急な対応は難しいと考えている。

お知らせ

○本庁・各支所ロビーのテレビまたはインターネットで
　議会生中継がご覧いただけます。
※インターネットをご利用の場合は
　ホームページの注目記事「**○○議会ただいま生放送中**」を
　クリックしていただければご覧いただけます。
※録画の視聴は町議会メニュ―の議会録画中継配信でご覧いただけます。

あかまつ よしお
赤松 良雄 議員

問 大串干拓地の埋め立ては

答 10年で完了。埋立地を検討

質問（赤松議員）
大串干拓は、担当課に聞くと6年で埋め立て完了する。昨年、自治会で溝掃除を行った際、土砂が大串干拓に搬入出来なかった。今後も自治体で溝掃除が行なわれるが、どのような対応になるのか。また、残土処分は今後6年で埋め立て完了と聞いているが将来起きるかもしれない大規模災害での土砂搬入など、どのように考えているのか。

答弁（企画振興課長）
残りの埋め立ては約6万㎥で7年~10年で埋め立て完了する。泥は乾燥して搬入し、ゴミはクリーンセンターへ連絡して搬入してもらう。新たな埋立地は検討中です。災害での土砂搬入量は過去、年間約100㎥で充分間に合う。

問 大崎海星高等学校の今後の在り方について

答 高校の取り組みは高校自身で行うべき

質問（赤松議員）
近年海星高校では国立県立大学に数人入学している。今年広島大学に一般入試で合格した。海星高校のこと保護者や町民に対する説明はどのように取り組んだのか。入学の地元率を上げるための具体的取り組みはどうするのか。
県教育委員会が県民に意見募集を行った。結果、意見を寄せたのは321人だった。県民意見募集を町教育委員会は知っていたのか。
住民に周知できなかったか。
学校活性化地域協議会の方向性はどのようにするのか。

答弁（教育長）
町も高校の必要性は認める。木江・東野地区は合併前から海星高校に行く生徒は少なかった。高校取り組み等の説明は町がすべきより、高校が説明すべき。どの高校に行くかは保護者と生徒が決める。県民意見募集は知っていたが行政がすべきではない。協議会については高校に決定権がある。

問 財政について地元説明会実施は

答 今年度実施する

質問（赤松議員）
12月の議会の町政運営と住民説明と他の議員から地域の説明会実施は、との質問に対し、「議会は早急に説明する。住民へは町長、副町長、教育長の3人でまわる」と答弁をしたが、どのようにするのか。

答弁（町長）
資料ができているので議員に説明する。町民へは国の動向はまだ決定していないのでそれを踏まえ今年度に説明会を行う。

問 消費増税の影響は

答 負担は増える

質問（赤松議員）
消費増税による町の負担増はいくらか。交付税等の国による配慮はどうなっているか。町民に対する負担が増え生活が苦しくなるがどのように考えるのか。

答弁（総務課長）
13年度決算で見ると建設費で2200万円増、電気160万円増。交付税が1%から1・7%になり1800万円増。町民の負担は増える。地元経済にも影響が出るので中小企業への利子補給を検討している。

おじり　やすじ
尾尻　康二　議員

問　フェリー桟橋周辺への防犯カメラの設置を

答　防犯カメラの導入については総合的に検討し、取り組む

質問（尾尻議員）
町内においては、昨年度より盗難事件が続いて発生している。また、竹原市においては、高齢者に対して息子等を名乗るといった特殊な詐欺が発生しており、当町も発生が危惧される事態となっている。

町・警察当局においても憂慮し、防災無線等により防犯に取り組んでいる。そこで、島の玄関口であるフェリー桟橋周辺に島に出入りする人、車等を監視できる防犯カメラを設置頂きたい。設置に伴う防犯効果も大きく、安全な町として、外部にもアピールできるもので是非、対応頂きたい。

答弁（総務課長）
本町における刑法犯の認知件数は、平成25年度には44件と前年に比べ25件増加し、懸念される状況にある。町民の安全・安心を確保するにはさらなる対策が必要と考えている。防犯カメラには一定の抑止効果があるとされる。県内でも駐車場や駐輪場及び道路等の公共施設において市・町が管理する防犯カメラの設置が進んでいる。関係機関の調べでは、設置がないのは本町を含む2町である。

設置については、一方で個人のプライバシーについての懸念も考えられ、他の自治体の運用の状況等を参考にしつつ、町民に対する説明など、丁寧な対応をとって検討を進める必要がある。

また、防犯カメラの設が発生することが課題となる。これらを踏まえ、防犯カメラの設置目的及び効果等を総合的に検討し、導入を検討したい。

フェリー桟橋

問　福岡池跡の宅地造成による売り出しについては

答　中止となった経緯を考慮し、大西区と協議し、検討したい

質問（尾尻議員）
大西地区にある福岡池跡の埋立地については、以前、宅地造成による売り出しが計画されたが、地元の反対で計画が中止された。現在、町の財政状況も厳しく変わってきており、町も遊休地として保有を続けるよりも、売却すれば、町財政の原資にもなり、宅地売買に伴う住宅建設等により経済の活性化も期待できる。

再度、事業に取り組まれることが妥当と思われる。地元区との調整を図られ、取り組み頂きたい。

答弁（町長）
町も財政が厳しい中で、遊休地の活用は大きな課題と思っている。地元区の要望により計画したものの、その後、中止となった経緯は重いものがある。このような事業を行うときには、地元、周辺の方々が気持ちよく受け入れてくれることが大事であると思っている。

経緯から、大西区が、今、どういう思いがあるのか区と協議し、その後、検討したい。

総務福祉文教常任委員会報告

委員長：越田賢一　副委員長：赤松良雄
委　員：信谷俊樹　尾尻康二
　　　　閑田大祐　道林清隆

平成25年12月定例会以降に開催した委員会での主要な調査協議事項及び、継続審議した内容と事業内容の報告をする。

○東野小学校視察

大崎上島町の小学校では、電子黒板を活用した授業改善の工夫がなされている。実際に活用している授業を視察。

成長期にある子供たちのバランスのとれた給食を試食。

○木江ふれあい郷土資料館視察

平成26年1月初旬にリニューアルオープンした木江ふれあい郷土資料館の視察を行い、担当者から現状の説明、今後の課題など説明を受けた。

○ハザードマップ作成

南海トラフ地震による津波被害を想定したハザードマップは、平成26年度中には完成するが、今後あらゆる災害を想定したハザードマップの作成が必要。

平成27年度大崎上島町防災計画にハザードマップは載せる。

○津波警戒標識の設置

大崎上島町において平成25年度計画されていた、津波警戒標識の設置は3月末に完了。

平成25年度の事業では40ヵ所であるが、随時増設していく予定。

しかしながら看板の形状に角があり、危険防止のため角を丸くする加工など課題がある。

○平成26年3月定例会

各課における3月補正予算と当初予算の説明を受け協議。

津波警戒標識

産業建設常任委員会報告

委員長：前田　太　副委員長：浜田幸造
委　員：辰田真司　渡辺年範
　　　　蒔田篤雄　浜田明利

平成25年12月定例会以降の委員会の内容の報告をします。

3月定例会では町の当初予算が議案となるために各課から予算の説明、主な事業の説明をうけて審議をしました。

上下水道課

簡易水道から上水道への移行に伴う事業の状況、簡易水道、公共下水道、農業・漁業集落排水事業予算の説明を受け、審議しました。

さらに、下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法（合特法）の運用状況の説明を求めました。

建設課

主要事業として、町道の維持管理や橋梁整備の予算、交通事業と町営航路の「さざなみ」建造の現状の説明を求め審議しました。

企画振興課

今年度の主要事業として、定住促進用住宅の管理運営、

情報機器更新、海上交通補助事業やコミュニティバス運行、干拓地管理などの説明を受け、審議しました。
　また、集落支援事業の現況、メガソーラー建設の進捗状況などの説明を求めました。

メガソーラー

産業観光課
　主な事業として、今年度から創設された「地域人づくり事業」に基づく造船活性化事業、中小企業融資資金利子補給金、畑地帯総合整備事業への取り組み、農水産振興策、修学旅行誘致などの説明を受け、審議しました。

　またブルーベリー産地シンポジウムin広島大崎上島町、かんのみねの日（5月18日）制定などの報告を受け審議しました。

広報調査特別委員会視察報告

委員長：閑田大祐　副委員長：道林清隆
委　員：辰田真司　越田賢一
　　　　前田　太　浜田幸造

　広報調査特別委員会は2月27・28日、株式会社リセット（福岡市）・新宮町議会広報委員会にて視察研修を行いました。

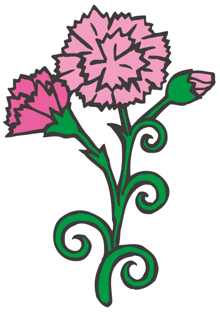
○株式会社リセット
　福岡県で発行部数72万6千部を誇るフリーマガジン「リセット」の出版社で、技術研修を受けました。
　紙面作成の基本的方向性や編集に際しての留意事項など、紙面づくりに必要な技術指導をしていただきました。
　写真の使い方や、読みやすくするための工夫、特集を組む際の注意事項など、プロの編集者の指導は大変参考になりました。

○新宮町議会
　福岡市の隣、新宮町の議会広報委員会の視察研修、および意見交換を行いました。
　ここでは双方の、より実務的な編集作業工程の違いや改善点など、具体的な意見交換を主体としました。

　新宮町議会では、議事録の文字起しやレイアウト構成など、編集作業全般すべて広報委員会で実施しています。
　また、定例会閉会後、委員会で3～4日集中作業を行い、議会だより発行までの期間がかなり短縮されています。
　当委員会では、文字起しは外部委託、レイアウト構成は議会事務局が行っていますが、これを改めていくには費用の問題などもあり、今後の検討課題といえます。
　また、特集記事の着眼点や、使用する写真の選び方など、参考にするべき点が多くありました。

○今回の視察の目的は、「女性や若い人たちにもっと読んでもらえる紙面づくり」です。
　女性や若者が、もっと政治や行政に関心を持ってもらえるような紙面づくりをしていきたいと考えています。

広報視察



追跡　あれからどうなった

（平成25年６月定例会一般質問から）

質問　県道大田木江線の道路整備計画は

回答　平成25年度から事業着手する

その後の経過

平成25年度で交差点の用地補償を完了。

平成26年度は引き続き用地買収の予定。（一番狭い箇所付近）

県道大田木江線

質問　木江港湾高潮対策事業について、今後の計画は

回答　平成26年度から工事着工の予定

その後の経過

平成26年度は引き続き測量設計と一部工事着手予定で工事予定箇所はＪＡ前から木江支所前まで。

木江港湾

編集後記

▼平成26年３月定例議会で、大崎上島町神峰山（かんのみね）の日条例が制定されました。

神峰山は、大崎上島町を代表する山であり、町の象徴です。私たちは生を受けた時より神峰山のある暮らしをしてきましたが、神峰山は毎日その表情を変えながら、私たちの暮らしを励まし、癒し、見守ってくれます。

中学生の頃です。毎年元旦に欠かさず登り、友と新年の抱負を初日の出に誓い、高校生になると、四季折々足を向け風のざわめき木々の匂い、潮の香りを感じながら瀬戸の雄大な眺めに将来の夢を熱く語り合いました。

成人してからも人生の節目、節目に登ってきました。登っているときは全てを忘れ、ただひたすらに山頂を目指すのです。そうすると、山頂に着くころには身体に、心に、生きる力が湧くのです。

皆さんにとっても神峰山とは、私と同じように「こころ」のシンボルではないでしょうか。

「大崎上島町神峰山の日条例」の制定を受け改めてこの「こころ」のシンボル神峰山を後世に引き継ぐことの大切さを痛感した今日この頃です。（Ｈ）

議会広報委員

委員長　閑田大祐

副委員長　道林清隆

委　員　辰田真司

越田賢一

前田　太

浜田幸造